

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童デイサービスやまざくら			
○保護者評価実施期間	2025年1月15日		～	2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		～	2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 29日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当法人は放課後等デイサービスを、主に小学生用と、中高生用の2事業所に分けて運営していて、当事業所は小学生用のサービスして運営しています。分けることによって、より小学生に合った課題のプログラムを行うことができます。	主に小学生用の支援プログラムをつくることのできるため、放デイが学校と家庭の間の時間の過ごし方という位置づけの中にあるので、子供たちが学校からの緊張を解き、リラックスして自宅に戻れるように支援します。	現在支援プログラムとして、公園遊び、体育館活動、工作、自由活動、食育、音楽療法、SST、みんなで学習、駄菓子屋ごっこ、お誕生会、などを行っています。内容的には十分思っていますが、さらに内容を深めていく努力を続けたいと思います。新しいプログラムの開発も検討したいです。
2	指導員が中高年の年代の人が多く、比較的落ち着いた事業所になっているのではと考えています。子供たちが、学校で緊張した後に、家庭に戻る前の放課後の時間を過ごすのに良い環境を提供できているのではと思っています。	毎日のミーティングで、子どもたち一人ひとりの様子や特性をみんなで話し合ってから、子供たちを受け入れています。日々の子どもの様子や変化に関心をもって対応しています。	日々のミーティングや月一ミーティングで、一人ひとりの課題をより明確に意識して対応できるようにしたいです。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域連携や地域支援が言われています。他の放課後等デイサービスの事業所や、相談支援事業所との連携はある程度進んでいると考えていますが、学校との連携や協力がまだ不十分だと思っています。	学校との連携は、一番必要だと考えていますが、なかなかできない場合が多いです。こちらの学校側への理解が十分でなく、学校側も放課後等サービスの理解が十分でないようにみえます。こちらもちがいますが、学校側はさらに忙しい様子で、なかなか接点がないのが現状です。	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらからもっと理解してもらえるような、例えばこちらの通信などを送るなど、工夫が必要なのか、考えています。短期的に通信を送ったことがありましたが、かえって迷惑ではと気になり、やめたことがありました。 ・なにか、共同してイベントなどができたらと思います。
2	弱みとは思っていませんが、強みといえるほどにはまだまだ十分な自信を持ってはいませんので、ここに書きますが、保護者支援をしっかりと出来る事業所を目指してきました。本人支援とともに頑張りたいと思います。	保護者との関わりのなかで、子供のいる家庭の大事さを日々実感していますので、課題のある家族との関わりの難しさを感じています。	この点は、まずは相談支援員さんと連携したいですが、その他に、学校、他の事業所や、児童相談所、支援課などと繋がってきたいです。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービスやまざくら

公表日 2025年3月29日

利用児童数 2025年3月20日

回収数 15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1		1		制度的には5人の児童に付き1人の指導員が必要で、10人定員なので2人という事ですが、実際は5,6人の配置でやっています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2	1			当事業所は、一軒家を活用して運営しています。学校と自宅の間の時間の過ごし方として、子ども達に安らいだ時間の過ごし方を期待しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1				当事業所は古い家屋を活用して運営していますが、部分的な改良を行い、清潔さや快適さを心掛けています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	3		1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13			1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14				1	今年度より療育内容を定める個別支援計画の書式が変わり、支援の方向が本人、家族、移行、地域とより明確化されました。私たちも、その方向で頑張りたいと思います。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	8	1		6		地域連携は私たちの課題のひとつですが、放課後児童クラブや児童館との連携は、まだこれからと思っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1				
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	2				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	4	1	1		去年は十分できませんでしたが、保護者会やセミナーなどは定期的に計画しています。
	19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	2		1		
20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1					

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	2			私が見ていないので、状況がわからない	毎月の通信や、随時のご案内など、ホームページには毎年の事業所アンケートの評価結果表を掲示しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13			2		毎日のミーティングで、文書類、保管場所など、個人情報の取り扱いについて、話し合っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2		1		各種の必要なマニュアルはあるが、もっと保護者の方に周知する活動は必要と考えています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1		2		年間2回主に夏休みと冬休み期間に、火事と地震の対策として、避難訓練をしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12				3	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2			1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15				昨年よりも参加できる活動がふえてきました。見通しが立つようになり安心感が出てきたみたいです。ご支援ありがとうございます。	評価して頂きまして、ありがとうございます。これからも本人やご家族の皆様へ評価して頂けますように、頑張っていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15				いつも楽しく通っています。本当にいつもありがとうございます。	子供さんたちが楽しんで来ていただけるのを、嬉しく思います。私たちも子供さんたちの成長を楽しみに活動しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1				おおむね私たちの支援内容に満足して頂けているようで安心しました。これからもまだまだ改善できることを頑張りたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスやまざくら				公表日	2025年 3月 29日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		・子供の利用が少ない日はゆったり支援できる定員Maxになつてしまうと狭い感じがする建物の構造上仕方ない感じがある・おもちゃであそぶ子供たちと、塗り絵を行う子どもを分けている	当事業所は、主に小学生を中心としているので、1階のプレイルームで活動しています。狭さを感じた時には、2階のプレイルームも活用したい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2	・単に利用の子の人数に対する職員配置は妥当だが、子どもの特性を考えると職員配置に配慮があってもいいと思う	行政の基準では、10人の子に2人の指導員が必要で、それでは現場では足りず、5,6人の配置態勢でやっていますが、それでも課題はあると感じています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	5	・子供たちは施設の状況をキチンと理解している	当事業所は、一軒家を活用して運営しています。学校と自宅の間の時間の過ごし方として、子ども達に安らいだ時間の過ごし方を期待しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		・部屋は毎日終了後に、床、ドアノブの消毒を行っており、清潔を保っている	当事業所は古い家屋を活用して運営していますが、部分的な改良を行い、清潔さや快適さを心掛けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	3	・2階のプレイルームがあるが、あまり活用していないので、もっと使用頻度を増やしたらよい	基本的に集団療育をしているので、個別に指導する必要がある場合には、2階のプレイルームなど他の場所に移して行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	1	・その日の開始時のスタッフミーティングで前日の反省・トピックを発表している	毎日のスタッフミーティングで、子どもたちの対応を話し合い、お互いの職員のスキルや知識を検討しあって、お互いのレベルをあげる努力をしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・連絡帳を活用し保護者との意思疎通を図っている	毎日のミーティングで、保護者からの意見や要望を検討し、改善を図っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・機会は設けているが、業務改善に繋げるには職員に周知するようなミーティングへの職員への参加を促すべき・職員全体で話す機会を設ける・月1回の職員ミーティングを行い記録をファイル・LINEで周知している	パート職員との連絡は、毎日のミーティング記録を通じて行おうが、連絡事項としてミーティング時にくり返すなどをして徹底するようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6		第三者による外部評価はこれからの課題と考えています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	・今は、日々の療育でいっぱいのも所もある人手不足職員が増えれば細々の能力に応じた研修も受けられる・常勤は定期的に研修を行っている	内部での研修はオンラインを活用し、常時行っています。常勤、非常勤を問わず、関心のある職員には外部研修も実行しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・バランスよく片寄らない様に工夫している	毎月のプログラムの構成は、ある程度うまく出来ていると考えています。ときおりは、職員の提案で新しいプログラムを取り入れています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9			半年ごとに、保護者と個別支援計画を見直し、継続する課題と新しい課題を話し合っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		・全職員の共通理解になるように、その日の始まりのミーティングや、その日の終了後の意見交換など、あるいは後日の機会などで話し合っている	毎日のミーティングで、子どもたちの一人一人の課題を話し合っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・職員間みんなに共有されているかという点、...、そうするには職員が共有出来る場出来るように体制を考えるべき・児童別の観察ノートを作成してその子供がとった行動を共有している	支援計画の課題を毎日の療育記録表に記載する工夫し、指導員が理解できるようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			標準化されたアセスメントのツールは使っていませんが、日々の子どもの成長や変化は指導員同士で共有し、保護者にも伝えるようにしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	・サービスガイドライン不明・当該こどもの家庭事情を考慮し、その子供の特性に合った支援を行っている	今年度より実施された個別支援計画の書式を使用し、5領域の療育内容、家族支援、移行支援、地域連携などを実行しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	3	・チームでは行っていない。どんな活動がいか話し合える場があったらと・日々の活動はリーダーが主体となって決めている、特別行事はチームで行っている。・スタッフ同士の相談で行っている	毎日のミーティングで、指導員みんなでプログラムの内容を決めて行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		・曜日で固定しないようにしているが、職員間で話し合い新しい活動プログラムを考えるといい・バランスを考慮して適切な内容となる様になっている	ある程度は固定していますが、長期休みや、天候や四季の変化などを考慮して、みんなで工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	・その日の活動手前にはスタッフ間で打ち合わせを行い意思統一する	基本的には集団療育の枠を考慮しながら、必要ならば個別に対応しています。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10			毎日のミーティングで行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	・その日ではないが次の日のミーティングではしているが本当ならその日いた職員で、その日の振り返りをするべきだと思う・終了後、翌日にも行っている	終了後の話し合いでも共有する必要がある場合には、行っていますが、翌日のミーティングでも行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		・毎日支援終了後個別にその日の行動と気づいた事を記録している	日々終了後に行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・常勤スタッフが個別にモニタリングを行っている	半年ごとに、保護者と共に行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	1	・4つの基本活動周知	4つの基本活動の考え方を考慮していますが、具体的には本人支援、家族支援、移行支援、地域連携や、5領域の活動で、実践していきます。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	・あくまでも子供の意思を尊重し難しい時は可能な行動で誘導する	当事業所は、主に小学生を対象にしています。低学年、中学年、高学年といるいるな成長過程の中で本人の意思決定を尊重していきます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		・常勤スタッフが対応している	必要に応じて開かれる学校や支援事業所との担当者会議には、積極的に参加し、ミーティングでスタッフとの情報共有を行っています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		必要によって開かれる担当者会議には積極的に参加しています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		・送迎時に学校の先生から、その日にあった事を申し送られて共有している	学校との連携は、必要に応じて行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	・入所が決まった時点での情報共有が望ましい。	当事業所は主に小学生を受け入れています。保育園や幼稚園との連携はこれからの課題です。療育センターとの連携はある程度出来ています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		当事業所は主に小学生なので、中学生用のデイサービスとの連携は出来ています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		地域の児童発達支援センターとの連携は、必要に応じて行っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6		放課後児童クラブとの連携はこれからの課題です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2		地域自立支援協議会との活動には、参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・連絡帳や送迎の際に保護とコミュニケーションをとっている	日頃の活動の中で行っています。
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		家族支援のための研修や講演会などの活動は定期的に行っています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		契約時に重要事項説明書等で行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・保護者との面談を定期的に行い家族の意向を確認している	定期的に保護者と面談し、行っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		・子供の個々の育成目標を立て家族の了解を得ている	定期的に保護者と面談し、行っています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・家族との面談は定期的に行っており家族側に寄り添った支援を行っている	保護者との日々の関りや、定期的な面談を通じて行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	5	・計画はするが、実施できていない状況がある（参加者不足）・父母も共働きの家もある一律に会を催す事は難しいのではないかと	保護者会やセミナーなどは定期的に計画しています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・クレームがあった際にはミーティングにおいて発表し、スタッフに周知している	こどもや保護者からの苦情や要望は、その都度指導員で検討し、対応しています。

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	1	・情報通信紙を定期的に発行し行った行事や新任のスタッフの紹介をしている	毎月の通信などで、周知、公開しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1	・子供の個人情報の共有はやむを得ないがスタッフの個人情報に関しては、慎重に守秘すべき・個人データは子供が触れられない場所に保管し、スタッフには持ち出し禁止となっている	子供や保護者の個人情報は、必要な用途に使う時は事業所内で、その他はキー付きのキャビネットで保管しています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・定期的に親と面談を行って指導計画のすり合わせを行っている	日頃の接触時や、面談時などで行っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	6	・地域ボランティアの呼びかけ・スタッフのOB,OGによびかけ協力を呼びかけあう	地域との関わりは、これからの課題です。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	・マニュアルはあるが、発生を想定した訓練までには至っていない・定期的な避難訓練をおこなっている	必要なマニュアルはあるが、もっと周知する活動は必要と考えています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・定期的な避難訓練をおこなっている	年2回、火事と地震の対応の訓練を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		・保護者との情報交換にて把握している	主に面談時に保護者から服薬状況を聞き出して把握しています。それ以外に保護者から連絡があるときに把握しています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		・アレルギーに関しては、保護者から聞き取りはしている 医師の指示書に基づく対応が必要になるまでの子はいない ・保護者の申し出にて対応している	現状では、該当する児童はいませんが、面談時に保護者から聞き出して確認しています。
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	・避難計画を基に避難場所への訓練を行っている	避難計画に基づいて行っています。	
51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	・家族との連絡帳を通して情報を共有し周知している	各種マニュアルの周知、説明を行っていきます。	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	9		・ヒヤリハットは報告書を書いてはいるが再発防止に向けた策を職員全員で検討しているかという点、...・ミーティングで共有し対策を話し合っている	主に活動時や、移動時のヒヤリハットをみんなで共有するようにしています。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・過度な押しつけがあった場合、その日の振り返りで当事者に注意すべき・スタッフ間においても虐待についてミーティングを通じて認識を深めている	毎日のミーティングで、虐待にあたることのないように、話し合いをしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	3	・重度障害児に対しては、あらかじめ協議すべき	身体拘束の事例は今までないですが、必要がある場合には、保護者との話し合い、指導員との話し合い、を徹底して実行したいと思います。	